

評価情報（活用効果調査表等）

登録番号	CB-180026 -A
新技術名称	けい酸カリウムを主成分としたけい酸塩系表面含浸材(シリカリ)
比較する従来技術	けい酸塩系表面含浸材
組織機関名	
部署・事務所名	
工事名	塗布判定工法
活用等の型	施工者希望型(契約後提案)

新技術活用計画書・実施報告書

作成日		
受注者名		
契約額(円)		
工事期間	～	
新技術施工期間	～	
施工場所		
施工概要	内容	
	対象数量	
	新技術使用箇所	
	現場施工条件	【現場条件】 []
		【周辺状況（病院、学校、鉄塔の有無等）】 []
		【自然環境（騒音、振動、水質等）】 []
施工（活用）概要資料		
障害	【施工上で重大な障害や問題が生じましたか。】 []	
作業環境		
活用理由	経済性	
	工程	
	品質・出来形	施工段階では着色タイプで塗布ムラや塗り忘れの塗布管理、検査段階では撥水試験により2段階で品質管理が可能である。
	安全性	
	施工性	着色タイプは原液を使用、撥水材は現地で混ぜるだけなので、特別な工程が不要である。
	環境	
	その他（）	
	その他（）	

活用効果調査表（発注者用）

発注課	
記入者氏名	
連絡先（TEL）	
経済性	当該技術に関連しない項目である 【コメント】
工程	当該技術に関連しない項目である 【コメント】
品質・出来形	当該技術に関連しない項目である 【コメント】
安全性	当該技術に関連しない項目である 【コメント】
施工性	当該技術に関連しない項目である 【コメント】
環境	当該技術に関連しない項目である 【コメント】
その他（）	当該技術に関連しない項目である 【コメント】
その他（）	当該技術に関連しない項目である 【コメント】
総合的所見	<p>【NETIS掲載情報の『期待される効果』に対して、活用した結果はどうでしたか】</p> <p>●優れていた所 []</p> <p>●劣っていた所 []</p> <p>●留意する所 []</p> <p>【当該現場ではNETIS掲載情報の「比較する従来技術」は適切でしたか】</p> <p>【今後、当該技術を活用できる工事の場合に活用しますか】</p> <p>【当該技術について改良点・要望・その他ご意見ありましたら自由に記入して下さい】 []</p>

活用効果調査表（施工者用）

会社名					
記入者氏名					
連絡先（TEL）					
経済性	効果調査			優れていた点	
	従来技術より劣る	同等	従来技術より優れる	4	
<p>【コメント】</p> <p>従来技術と同様2回塗りであるが、浸透性が高いので1回塗りの施工数量（300m³/日）×2回未満なので、従来技術（300m³/3日）より経済性に優れる。</p>					
工程	効果調査			優れていた点	
	従来技術より劣る	同等	従来技術より優れる	3	
<p>【コメント】</p> <p>従来技術と同様2回塗りで、工程は同じである。</p>					
品質・出来形	効果調査			優れていた点	
	従来技術より劣る	同等	従来技術より優れる	5	
<p>【コメント】</p> <p>塗布段階で着色タイプを、2回目は撥水タイプを使用したので、塗布ムラや塗り忘れの低減が出来た。1回目は塗布ムラや塗り忘れを目視確認出来、2回目の撥水タイプは水掛試験をできるので2段階の品質管理可能となった。撥水タイプは社内検査の抽出試験でも活用できた。</p>					
安全性	効果調査			優れていた点	
	従来技術より劣る	同等	従来技術より優れる	3	
<p>【コメント】</p> <p></p>					
施工性	効果調査			優れていた点	
	従来技術より劣る	同等	従来技術より優れる	4	
<p>【コメント】</p> <p>着色タイプは原液を使用でき、撥水タイプは添架剤を1缶混ぜるだけで特別な工程がなかったので施工性は優れる。</p>					
環境	効果調査			優れていた点	
	従来技術より劣る	同等	従来技術より優れる	3	
<p>【コメント】</p> <p></p>					

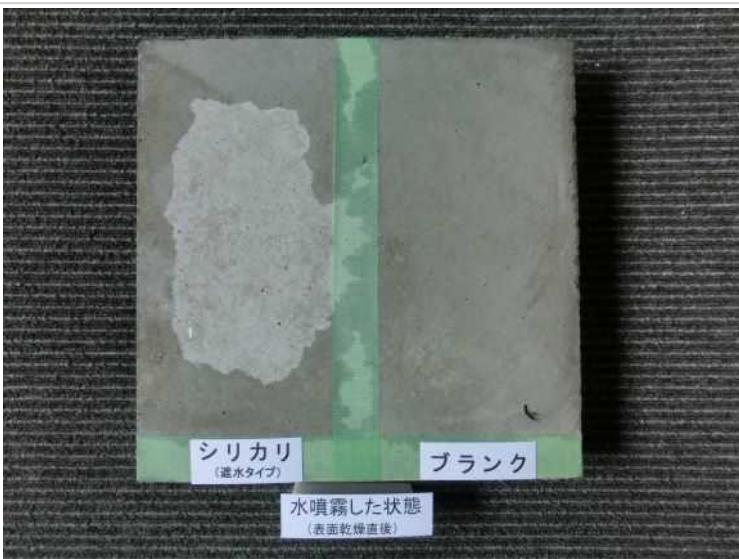
その他 ()	当該技術に関連しない項目である 【コメント】
その他 ()	当該技術に関連しない項目である 【コメント】
総合的所見	<p>【NETIS掲載情報の『期待される効果』に対して、活用した結果はどうでしたか】</p> <p>●優っていた所 特別な管理が不要で、塗布ムラや塗り忘れを防ぎ目視管理ができ記録にも残せるので品質・出来形管理に役立った。また、止水性能が高いので、劣化因子の進行を防げる所以内部鉄筋への悪影響も避けられる。</p> <p>●劣っていた所</p> <p>●留意する所 着色タイプは、塗布翌日に退色するのでその日のうちに記録する必要がある。</p>
	<p>【当該現場ではNETIS掲載情報の「比較する従来技術」は適切でしたか】</p> <p>適切であった</p> <p>【今後、当該技術を活用できる工事の場合に活用しますか】</p> <p>今後も是非活用したい</p> <p>表面含浸材塗布において、元請けの品質・出来形管理は立会い目視となり記録に残しにくい。着色タイプと撥水タイプを使用することで、空缶管理と併せて記録に残せるので品質・出来形管理に役立った。</p>
	<p>【当該技術について改良点・要望・その他ご意見ありましたら自由に記入して下さい】</p> <p></p>
施工状況等の写真1	
施工状況等の写真1 タイトル	シリカリ塗布判定工法を採用

施工状況等の写真2



施工状況等の写真2
タイトル

施工状況等の写真3



施工状況等の写真3
タイトル

シリカリ撥水タイプ